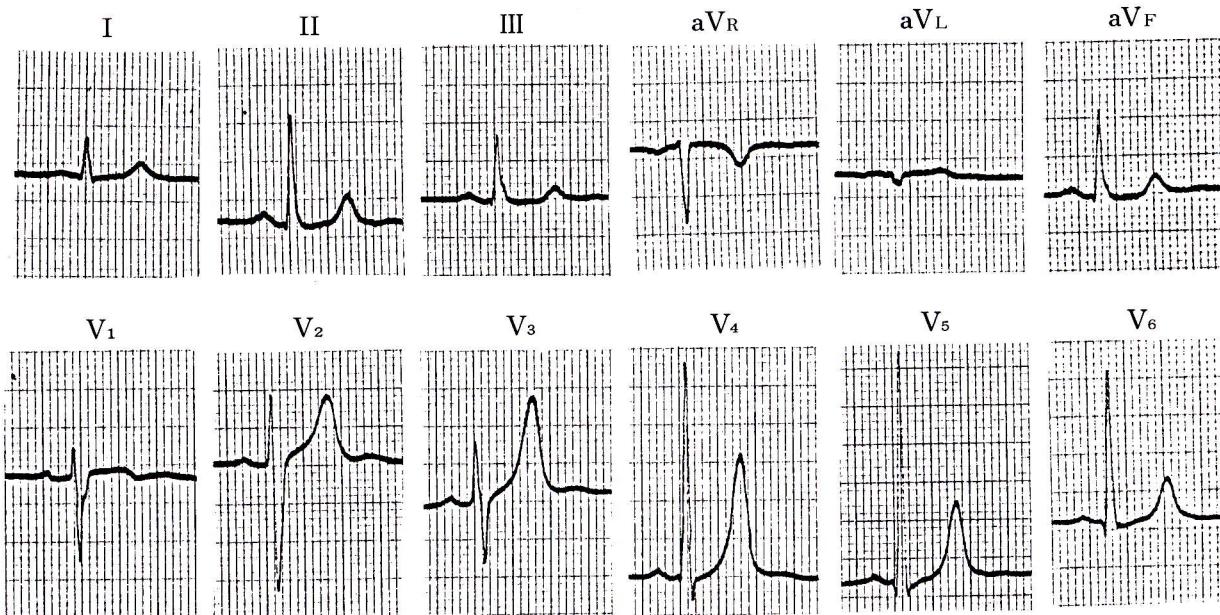


症例 62

●23歳 男

●蛋白尿精査のために来院.



137

1) V₂～V₅に高くて尖鋭なT波が認められるが、何を考えるか。

左室肥大

V_5 のR波が30mm。 V_5 のR波と V_1 のS波の和が40mm。左室肥大基準を満足している。 $V_2 \sim V_5$ に高くて尖鋭なT波を認めるが、左右非対称であり、基底部も広く、いわゆるテント状T波ではない。

normal variationであるが、念のため血清K値をチェックしておくとよい(本例では4.5mEq/lであった)。

MEMO

〈tall T波の臨床的意義〉

138

tall T波は、平低T波～陰性T波に比べれば臨床的意義は少ない。tall T波が臨床的に問題になるのは高K血症(テント状T波)、心筋虚血(心筋梗塞新鮮期、異型狭心症発作時)などであるが、T波の高さは個人差

が大きく、以前の記録に比し、はっきりと高く、尖鋭になっている場合を除いては、問題にすべきではないが、非常に高く尖鋭なT波を見る場合には、念のため血清K値を測定しておくとよい。